

“教育セミナー2014”（御案内）

申込方法

別添の参加申込書に必要事項を記入の上、**郵送又はFAX**で申し込んでください。（部分的な参加も可能です。）

（記入例）

記入例 1

全体会提案 (13:00~14:00)	御発参 記入表加 入内容を希 望の望さ だの望さ さい。番 さい。号 をを	①
研究発表1 (14:10~15:00)		③
研究発表2 (15:10~16:00)		⑬

記入例 2 (部分的な参加の場合)

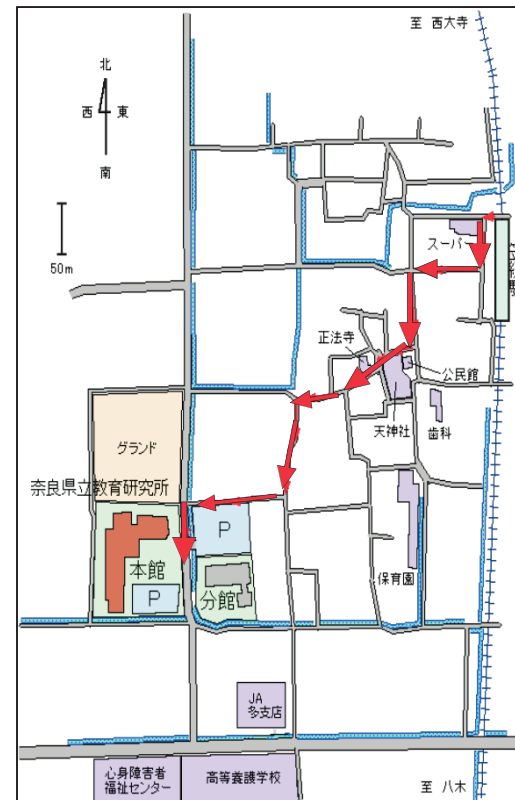
全体会提案 (13:00~14:00)	御発参 記入表加 入内容を希 望の望さ だの望さ さい。番 さい。号 をを	
研究発表1 (14:10~15:00)		⑥
研究発表2 (15:10~16:00)		⑫

参加されない部分は、空欄で構いません。

申込先

奈良県立教育研究所“教育セミナー2014”係

〒636-0343
奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1
FAX 0744 - 33 - 8909



問い合わせ先

奈良県立教育研究所 教科教育部
TEL 0744 - 33 - 8903

会場への案内

近鉄橿原線笠縫駅から南西へ約0.6km（右図参照）

※ 公共交通機関を御利用ください。



- 日時 平成26年5月30日（金） 13:00 ~ 16:00（受付12:30~）
- 場所 奈良県立教育研究所
奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1
- 対象 教育関係者及び教育に関心のある方
- 日程

明日からの指導のヒントとなる数々の報告を是非ともお聞きください。

12:30	13:00	13:10	14:00	14:10	15:00	15:10	16:00	16:45
受付	開会式	全体会 提案 協働性・双方向性を取り入れた 学びづくり	移動・休憩	研究発表1 プロジェクト研究発表 個人研究発表 調査・研究等の報告	移動・休憩	研究発表2	館内開放 さまざま体験ブース 県内大学最新情報 “未来の先生”との語り 徒然なるままにツイート	
パネル展示・教材展示（研究成果及び各種紹介パネル、ICT機器、実験器具、新教材等）								

教育セミナー2014 発表内容一覧

13:00~14:00 全体会	14:10~15:00 研究発表1	15:10~16:00 研究発表2	~16:45頃まで 放課後館内開放
<p style="text-align: center;">① 提案</p> <p style="text-align: center;">授業風景の再現により、協働性・双方向性が意識された学びづくりの視点を提案し、協働型・双方向型の「ともに学ぶ」授業について、参加者の方と共に考えていきます。</p> <p style="text-align: center;">要チェック</p> <p style="text-align: center;">TV会議システムの導入による模擬教室からのライブ中継！</p>	<p style="text-align: center;">② 子どもの確かな人権意識を育てる学習</p> <p>在日外国人の現状や諸課題についての認識を深め、国際的な視野に立って、人権を尊重する態度の育成を目指す実践について報告します。</p> <p style="text-align: center;">③ 児童の学習意欲を高める教材・教具づくり —身近な素材を利用した教材・教具の工夫—</p> <p>児童の学習意欲を高める、身近な素材を利用した理科の「花粉の観察」「流れる水の働き」における教材・教具づくりの取組を報告します。</p> <p style="text-align: center;">④ 教材が身近に活用できる環境づくり —市内小学校教員のための教材サイトの制作—</p> <p>市内の小学校教員が教材を共有し活用しやすくなるネットワークの仕組みを考案しました。その試験的な運用の結果を報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑤ 幼児の体力向上に向けた取組に関する研究</p> <p>基本的な動きの未熟な3歳児が、どのように「動きの多様化」を図りながら運動遊びに取り組んでいくのかを実践を通して分析し、3歳児における体力向上を図るための視点や課題について報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑥ 小規模校における児童のコミュニケーション能力の向上を目指した取組 —テレビ会議システムによる授業交流を通して—</p> <p>小規模校における児童の表現力の向上を目指してテレビ会議システムによる授業交流を行いました。その効果を検証した結果について報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑦ 英語授業における生徒の読みを深める効果的な発問の在り方 —事実発問と意見発問の有効性の検討から—</p> <p>生徒の読みを深めるためには、テキストに書かれた情報をそのまま問う事実発問と、テキストに対する読み手の意見や反応を問う意見発問のどちらが有効であるかについて研究した結果を報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑧ 児童生徒が夢中になる体育の授業づくりと学校体育マネジメントについて (体力向上推進コーディネーターによる発表)</p> <p>児童生徒が夢中になって運動に取り組み、体力向上につながる体育の授業づくりのヒントと校内で体力向上の取組を活性化させるための効果的な手立てを紹介しします。</p> <p style="text-align: center;">⑨ 地域遺産を活用する教材開発 (奈良教育大学による発表)</p> <p>地域の遺産を教材として具体的に取り上げ、ESDの理念に基づく教育実践の方法、教材開発及び指導案について、「奈良TIME」を踏まえながら発表します。</p> <p style="text-align: center;">⑩ 教育に新聞を (奈良県NIE推進協議会による発表)</p> <p>NIE (Newspaper In Education) は、学校教育で新聞を教材として活用する活動です。NIEの活動や、実際に県内の学校で行われている取組を紹介しします。</p>	<p style="text-align: center;">⑪ 安全・安心な学校づくりにおける学校事務職員の役割</p> <p>組織マネジメントの視点に基づいて教職員全員で共に取り組む教育環境維持管理システムの構築と、その結果について報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑫ 英語の授業における教材・教具の開発 —英語の授業を好きにさせるワークシート—</p> <p>生徒の言語活動を中心とした英語の授業を展開する上で有効なワークシートを作成し、その効果を検証した結果について報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑬ 道徳の時間における情報モラルの指導の在り方</p> <p>道徳の時間における情報モラルの指導の在り方として、内容項目を特定し、匿名性の問題に留意した指導を行うことで、児童の情報モラルに対する意識が高まった取組の授業実践と成果を報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑭ 体力向上を踏まえた体育授業の在り方</p> <p>ボール運動(ベースボール型)の授業において、投能力の向上を目指し、児童の投動作が改善する動きを取り入れた授業の有効性を検証した結果を報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑮ TIG溶接における安全教育教材の作成 —企業研修から学ぶ安全教育の在り方—</p> <p>企業体験研修を通して、安全に関する取組や、企業における「ものづくり」に携わる姿勢を学びました。それを踏まえて、TIG溶接の導入に活用できる視覚教材を作成したことについて報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑯ 特別な教育的支援を必要とする生徒への不登校の改善に向けた支援の在り方 —奈良県高等学校における事例検討から—</p> <p>不登校状態にある特別な教育的支援を必要とする生徒への不登校の改善に向けた効果的な支援について、高等学校における5つの事例を通しての考察を報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑰ きまりの必要性などに気付き、自分の気持ちを調整する力が育つようになるための環境の構成や教師のかかわりについて</p> <p>平成25年度幼稚園教育理解推進事業(奈良県協議会)の協議主題に基づいて取り組んだ実践について報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑱ 理科における言語活動を通して学び合う授業の工夫 (奈良県小学校理科教育研究会による発表)</p> <p>理科が始まる3年生の児童に、どのように理科学的なものの見方や問題解決していく学習方法を身に付けさせるのか、また、授業の中でどのように言語活動を展開し学び合いをさせるのかについて報告します。</p> <p style="text-align: center;">⑲ 子どもたちの読書活動を推進するために (奈良県学校図書館研究会による発表)</p> <p>読書活動を推進するための取組について、参加された方々と共に、お話の世界が味わえるようなアニメーション等の実演を交えて報告します。</p>	<p style="text-align: center;">要チェック</p> <p>セミナー終了後も、放課後メニューとして、下記のコーナーを準備しています。ふるって、ご参加ください。 (放課後メニューについては、事前の申込みは不要です。)</p> <p style="text-align: center;">さまざま体験ブース</p> <p>新しい教材やICT機器、デジタル教材など、初歩的な使い方から授業での活用の仕方にいたるまで、実際に実物に触れながら、体感できます。</p> <p style="text-align: center;">県内大学最新情報</p> <p>県内大学において、現在取り組まれている先進的な研究や明日からの指導に活用できる実践的な取組などが紹介されます。</p> <p style="text-align: center;">“未来の先生”との語り</p> <p>将来、教員になることを志望する学生とともに、明日の教育について、カフェ形式で語り合います。</p> <p style="text-align: center;">徒然なるままにツイート</p> <p>館内に設置されたパソコンをつかって、教育について考えていること、セミナーに参加して感じたこと、教育を進める上での楽しみや悩みなど、思ったままにつぶやいてもらえます。</p>
2コマを通した発表(14:10 ~ 16:00) ※前半・後半のみの参加も可能です。			
<p style="text-align: center;">参加の申込みについて</p> <p>・参加申込みの際には、参加を希望される発表内容の枠内に記されている①~⑩の番号を、別添の参加申込書に御記入ください。(部分的な参加も可能です。)</p> <p>・日程、内容等に変更があった場合は、奈良県立教育研究所のホームページにてお知らせします。また、当日、気象警報が発令された際は、中止とさせていただきますので、参加の前には御確認ください。</p> <p style="text-align: center;">県立教育研究所のホームページ http://www.nps.ed.jp/nara-c/</p> <p style="text-align: center;">申込み締切：平成26年5月23日(金)</p>	<p style="text-align: center;">⑳ プロジェクト1: 児童生徒の学ぶ意欲を高める授業の工夫—共に学び合う活動の充実から—</p> <p>児童生徒がより主体的に取り組める学習として、協働的・双方向的な学びのある授業の在り方に着眼し取り組んだ、グループ学習やペア学習を取り入れた授業について、実践と成果を報告します。</p> <p style="text-align: center;">㉑ プロジェクト2: 規範意識を醸成する特別活動の在り方</p> <p>規範意識を醸成するための新たな視点として、他者及び所属集団との関係性に目を向け、特別活動における様々な活動を通して、学級集団に対する心理的距離が変化することで規範意識が醸成されたことを報告します。</p> <p style="text-align: center;">㉒ プロジェクト3: 学校教育相談コーディネーターが要となる教育相談の進め方</p> <p>学校教育相談コーディネーターが要となった学校教育相談体制の構築に向けた取組について、中学校と高等学校における体制づくりのモデルを報告します。</p> <p style="text-align: center;">㉓ プロジェクト4: 卒業後の生活につながる授業の在り方—キャリア教育の視点を取り入れて—</p> <p>キャリア教育の視点を授業に取り入れることで、生徒の主体的な姿を引き出すことにつながり、授業改善が図られた知的障害特別支援学校2校の取組を報告します。</p>		